

よっかいち

No.326 令和2年11月20日発行

# 市議会だより

8月緊急議会・8月定例会議会合併号

市のお金の  
使われ方を  
議会がチェック  
厳しく



## 市議会からの10の提言！



～決算から  
来年度予算に向けて～

# 決算審査を次年度の予算編成につなげます

## ～10の提言を市長へ提出～

四日市市議会では、昨年度から決算審査を通じて出された意見を集約し、次年度の予算編成などに反映するよう市長へ提言を行っています。

8月定例会月議会において、令和元年度決算審査を経て10項目を提言書にまとめ市長へ提出しました。

提言の概要は以下のとおりです。

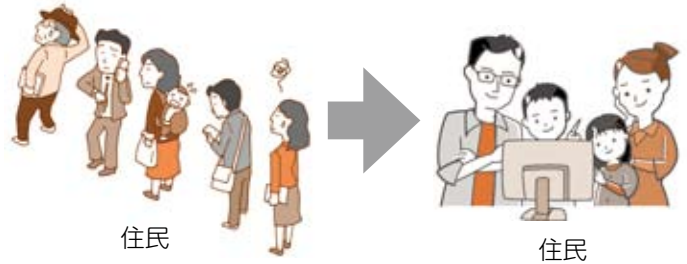
(詳しい内容は市議会ホームページからご覧いただけます。)



### 1 スマート自治体の実現

事業  
拡大

- 先進事例に係る調査、研究を行い、市の業務の精査をする中で実現に向けてのビジョンを示すこと



住民

住民

### 2 公立保育園、幼稚園、認定こども園の施設整備の実施

事業  
拡大

- 施設整備について、現場のニーズ・要望等に応じて適時適切に実施できるよう、必要な予算措置および実施体制の整備を行うこと

### 3 マイナンバーカードの取得推進

事業  
拡大

- 全庁的にデジタル化を推進し、市民サービスに対するマイナンバーカードの利活用について検討を行うこと

### 4 地区市民センター整備実施

手法  
見直し

- 地区市民センターに求められる機能および必要となる設備等の整備について、整備事業計画を策定した上で着実かつ効率的に実施していくこと



### 5 障害者雇用の推進

事業  
拡大

- 商工農水部と健康福祉部が深い相互理解を図る中で、障害者雇用の促進に向けた新たな仕組みづくりを検討すること

### 6 コロナ禍を受けた市立四日市病院の感染症対策の実施

事業  
拡大

- 新型コロナウイルス感染症等に対応した病院運営のあり方についての検討を行うこと
- 今後の感染症流行に備え、診療をはじめ医療従事者の働く環境整備を含めた医療体制の充実を図ること

決算から予算への反映  
そして決算で再び検証

## 決算審査

8月定例会月議会

- 委員の意見を集約し提言シートにとりまとめて市長へ提出
- 前年までの提言項目をチェック

4月から翌年3月

## 予算執行状況を確認

2月定例会月議会

## 次年度の予算審査

- 議会意思の反映を確認
- 予算審査で活用

### 7 市営住宅の連帯保証人に係る制度の見直し

手法見直し

- 連帯保証人の確保を入居条件から削除し、家賃滞納への対策として機関保障制度の活用や民間の経営手法を参考にするなど新たな対策の検討を行うこと

### 8 合併浄化槽の水質浄化促進及び普及促進

事業拡大

- 法定検査の受検率向上に向けた体制整備とともに数値目標を設定した上で進捗管理を行うこと
- 合併浄化槽の普及促進に向け、より効果的な補助制度について検討を行うこと



環境省ホームページ  
[https://www.env.go.jp/recycle/jokaso/pamph/pdf/wi\\_09-10.pdf](https://www.env.go.jp/recycle/jokaso/pamph/pdf/wi_09-10.pdf)

### 9 緊急輸送道路に係る対応

手法見直し

- 第2次から第4次までの緊急輸送道路の沿道の建築物の耐震対策について点検、現状把握を行うこと
- 無電柱化推進に向けた新たな手法を検討すること

### 10 実行委員会形式事業の在り方の検討

手法見直し

- 以下の3事業について、実行委員会による事業運営や補助金支出の手法が適当であるかあらためて検証し、民間委託等も含めた将来的な事業のあり方について全庁的な議論をすること



「四日市花火大会」



「大四日市まつり」



「四日市サイクル・スポーツ・フェスティバル」

# 概要

## 《8月緊急議会》

8月緊急議会を8月3日から7日の5日間の日程で行い、市長から提案された令和2年度の一般会計補正予算を審議し、原案のとおり可決しました。

## 《8月定例月議会》

8月定例月議会を8月28日から10月6日までの40日間の日程で行い、市長から提案された19議案を審議し、原案のとおり認定・可決したほか、6件の人事案件に同意しました。

また、議員提出議案について、子供の貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書の提出などの10件を可決したほか、4件の請願を採択しました。

## 日程

### 《8月緊急議会》

8月3日(月)	初日(議案説明・議案質疑・委員会付託)	4日(金)	総務常任委員会／総務予算分科会
5日(水)	予算常任委員会分科会(総務、教育民生)	9日(水)	決算常任委員会全体会
7日(金)	予算常任委員会全体会	10日(木)	決算常任委員会全体会
	最終日(委員長報告・質疑・討論・採決)	11日(金)	決算常任委員会全体会
		15日(火)	予算常任委員会全体会

### 《8月定例月議会》

8月28日(金)	初日(議案説明、報告・質疑)	24日(木)	委員長報告・質疑・討論・採決 追加議案説明・質疑・討論・採決
31日(月)	議案質疑・委員会付託	28日(月)	一般質問
	各常任委員会／予算、決算各分科会 (総務、教育民生、産業生活、都市・環境)	29日(火)	一般質問
9月1日(火)	各常任委員会／予算、決算各分科会 (総務、教育民生、産業生活、都市・環境)	30日(水)	一般質問
2日(水)	各常任委員会／予算、決算各分科会 (総務、教育民生、産業生活、都市・環境)	10月1日(木)	一般質問 追加議案説明・質疑・委員会付託
3日(木)	各常任委員会／予算、決算各分科会 (総務、都市・環境)	2日(金)	総務常任委員会
		6日(火)	最終日 (追加議案委員長報告・質疑・討論・採決 追加議案説明・質疑・討論・採決)

## 議案の議決結果

### 《8月緊急議会》

市長提出議案	議案名	議決結果	
議案第20号	令和2年度 一般会計補正予算(第5号)	原案可決	全員

### 《8月定例月議会》

市長提出議案	議案名	議決結果	
議案第21号	令和元年度 一般会計及び各特別会計等の決算認定	認定	賛成多数
議案第22号	令和元年度 水道事業における利益の処分及び決算認定	認定	全員
議案第23号	令和元年度 市立四日市病院事業決算認定	認定	全員
議案第24号	令和元年度 下水道事業における利益の処分及び決算認定	認定	全員
議案第25号	令和2年度 一般会計補正予算(第6号)	原案可決	全員
議案第26号	令和2年度 介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全員
議案第27号	市税外収入金の督促、延滞金及び滞納処分に関する条例の一部改正	原案可決	全員

議案第28号	国民健康保険条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第29号	後期高齢者医療に関する条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第30号	介護保険条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第31号	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第32号	工事請負契約の締結 - 総合会館外壁改修ほか工事 -	原案可決	全 員
議案第33号	工事請負契約の締結 - あさけプラザホール等吊天井崩落対策ほか工事 -	原案可決	全 員
議案第34号	工事請負契約の締結 - 中央緑地駐車場整備工事 -	原案可決	全 員
議案第35号	動産の取得 - 自走式二軸剪断型クラッシャ 1台 -	原案可決	全 員
議案第36号	動産の取得 - 防犯カメラ一式 (小学校) -	原案可決	全 員
議案第37号	動産の取得 - 消防ポンプ自動車 (CD-1型) 2台 -	原案可決	全 員
議案第38号	動産の取得 - 泡消火薬剤 (水溶性危険物対応泡消火薬剤) 20キロリットル -	原案可決	全 員
議案第39号	市道路線の認定	原案可決	全 員
議案第40～45号	人権擁護委員の推薦	同 意	全 員

議員提出議案	議 案 名	議決結果	
発議第5号	子供の貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書の提出	原案可決	全 員
発議第6号	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書の提出	原案可決	賛成多数
発議第7号	防災対策の充実を求める意見書の提出	原案可決	全 員
発議第8号	義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書の提出	原案可決	賛成多数
発議第9号	ドクターヘリの安定・持続的運用への支援強化を求める意見書の提出	原案可決	全 員
発議第10号	コンビニ交付サービスを活用した罹災証明書の交付を求める意見書の提出	修正可決	全 員
発議第11号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出	原案可決	全 員
発議第12号	国土強靱化の継続・拡充を求める意見書の提出	原案可決	全 員
発議第13号	地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意見書の提出	原案可決	全 員
発議第14号	四日市市議会会議規則の一部改正	原案可決	全 員

### 議案の賛否一覧表

※ 議案について、賛成、反対の双方あった場合のみ、表示しています。

会 派 議員名  議案番号	議決 結果	賛 成	反 対	政友クラブ							新風創志会					リベラル21					公明党			市民eyes		無党派 日本共産党											
				伊藤嗣也	小川政人	荻須智之	川村幸康	笹井絹予	笹岡秀太郎	中村久雄	日置記平	森康哲	石川善己	井上進	谷口周司	豊田政典	早川新平	平野貴之	三木隆	諸岡 覚	小田あけみ	加納康樹	後藤純子	竹野兼主	樋口龍馬	村山繁生	荒木美幸	中川雅晶	樋口博己	森智子	山口智也	伊藤昌志	小林博次	土井数馬	太田紀子	豊田祥司	森川 慎
議案第21号	原案可決	28	4	○	×	×	退	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議第6号	原案可決	27	6	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議第8号	原案可決	27	6	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○は賛成 ×は反対 退は退席 ※ 議長 (早川新平) は採決に加わらない。

## 用語解説

**【討論】** 採決の前に議題となっている案件に対し、自己の賛否の意見を表明するとともに、意見の異なる議員に、自己の意見に賛同するよう求める発言

### 議案第21号 討論(反対)

決算審査では、現金出納だけでなく行政の業務執行が法に基づいて適正に行われたかを審査することが大事であると考えます。令和元年度の住居確保給付金で、出納閉鎖後に算定方法の誤りによる約50万円の過払い金が判明しましたが、これは明らかに法を逸脱している。誤った決算

額を議会が認めてしまった場合、受給者に過払い分の返金を求めることができるのか、また、過払い金を回収することができるのかという疑問がある。このような点から決算を認定すべきではないと考えるため、当議案に反対する。  
(小川政人議員)

## 請願の議決結果

請 願	件 名	議決結果	
請願第1号	子供の貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書の提出	採 択	全 員
請願第2号	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書の提出	採 択	賛成多数
請願第3号	防災対策の充実を求める意見書の提出	採 択	全 員
請願第4号	義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書の提出	採 択	賛成多数

## 請願の賛否一覧表

※ 議案について、賛成、反対の双方あった場合のみ、表示しています。

会 派 議員名	議決 結果	賛 成	反 対	政友クラブ								新風創志会						リベラル21					公明党				市民eyes			無党派								
				伊藤嗣也	小川政人	荻須智之	川村幸康	笹井絹予	笹岡秀太郎	中村久雄	日置記平	森 康 哲	石川善己	井上進	谷口周司	豊田政典	早川新平	平野貴之	三木隆	諸岡 覚	小田あけみ	加納康樹	後藤純子	竹野兼主	樋口龍馬	村山繁生	荒木美幸	中川雅晶	樋口博己	森 智 子	山口智也	伊藤昌志	小林博次	土井数馬	太田紀子	豊田祥司	森川 慎	
請願第2号	採択	27	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第4号	採択	27	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○は賛成 ×は反対 ※ 議長（早川新平）は採決に加わらない。

## 委員会審査の概要

常任委員会における条例の制定、一部改正や契約を締結しようとする議案などについての審査で出された主な意見等の概要をお知らせします。

### 総務常任委員会

#### ◆ 動産の取得について—消防ポンプ自動車（CD-I型）2台—

**質疑** 平成29年3月の道路交通法改正後に取得した普通免許では車両総重量3.5 t以上の車両を運転することができないが、準中型免許取得に対する公費助成について、現在の検討状況や他市の導入事例を確認したい。

**回答** 近隣市町では、いなべ市が助成を行っている。本市においても将来的に車両総重量3.5 t以上の車両を運転することができない分団員の増加が想定されるため、前向きに検討したい。

### 産業生活常任委員会

#### ◆ あさけプラザホール等吊天井崩落対策ほか工事について

**質疑** 必要な工事であるが、多額の投資を行う以上、今後の有効活用に向けた戦略や提案を研究し、発信してほしいがどうか。

**回答** 工事により安全性が担保されるなど施設がリニューアルされることを踏まえながら、貸館のあり方について研究を進めていきたい。

### 教育民生常任委員会

◆ 国民健康保険条例の一部改正、指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正、及び動産の取得については、質疑及び意見はありませんでした。

### 都市・環境常任委員会

#### ◆ 中央緑地駐車場整備工事について

**質疑** 中央緑地駐車場整備工事に隣接して行うPark-PFI事業への影響についてはどうか。

**回答** 工事車両の出入りなど一定の影響があると考えるが、契約締結後に駐車台数をなるべく確保できるように契約相手方と調整するなど、できる限り配慮したい。



## 予算・決算 常任委員会 審査の概要

予算および決算の審査については、総務、教育民生、産業生活、都市・環境の各分科会で、各所管に属する予算および決算について詳細な審査を行った後に、予算および決算常任委員会の全体会において各分科会がそれぞれの審査の経過と結果の報告を行い、必要な事項については全体会で審査しました。全体会および分科会における主な意見等の概要をお知らせします。

### 予算常任委員会全体会

- ◆ 全体会において、各分科会からの報告を受け議論を行いました。委員から全体会審査すべきものとして追加提案された事項はなく、令和2年度一般会計補正予算第6号および令和2年度介護保険特別会計補正予算第1号について、別段異議はありませんでした。

### 予算常任委員会分科会

#### 総務分科会

##### ◆ 番号制度関連事業費について

**質疑** 今回の戸籍附票システムの改修により、メリットを享受する対象者数は把握しているのか。

**回答** 今回のシステム改修は国外に滞在する日本国民のマイナンバーカード・電子証明書の利用を可能とするものであり、対象者数は全国で135万人とされている。本市においては、在外選挙人名簿を参考にすると、およそ200人強の方が対象と思われる。

#### 都市・環境分科会

##### ◆ 市営住宅の空き家修繕について

**質疑** 新型コロナウイルス感染症対策として30戸の空き家修繕で十分と考えているのか。

**回答** 令和2年度に職員を増員したため、残りの期間でどの程度修繕できるか検討した結果、追加で30戸を修繕することとしたい。空き家の修繕が間に合わず十分な市営住宅の供給ができていない現状にあるが、コロナ禍の状況で将来的に市営住宅の需要が増えることが見込まれるため、空き家の修繕のスピードを加速しなければいけないと考えている。

**質疑** コロナ対策だけでなく高齢者が増加することも踏まえて、低層階を中心に修繕をしていくことが望ましいと思うがどうか。

**回答** 高齢化が進む中で、低層階が空いてくれば優先して修繕をしている。また、高層階も含めて市営住宅全体を活用してもらえるように、既存市営住宅へのエレベーターの設置を検討している。

**意見** 今後も高齢化に適応した場所、住みやすい環境をつくってほしい。



#### 教育民生分科会

##### ◆ 新型コロナウイルス感染症関連経費、学童保育事業費について

**質疑** こども未来部が学童保育所の現場の様子を一番把握していると思うので、きめ細やかに相談に応じながら上手く国の予算を活用できるよう支援してもらいたいがどうか。

**回答** 今回の補正予算にあたっては、6月末から7月にかけて市内の全学童保育所を訪問し、対象となる経費等について説明するなど丁寧な支援を行ってきた。引き続き、有効に活用してもらえるよう取り組んでいきたい。



#### 産業生活分科会

##### ◆ 個人番号カード交付予約・問い合わせ対応等に係る業務委託について

**質疑** 業務委託先は、専門知識を持つことを条件としているのか、もしくは、人員の確保のみに留まるのか。

**回答** マイナンバーカードや住民票等について一定の専門知識を持つ者への委託を考えている。



## 決算常任委員会分科会

### 総務分科会

#### ◆ 水防事業について

**質疑** 近年、全国的に水害が発生しており、水防訓練の重要性が増している。今年度は水防訓練を実施したのか。

**回答** 年間3回程度の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症を考慮し、今年度の開催は見送った。

**意見** コロナ禍においても水害の発生リスクは変わらない。感染対策にも意を配しながら工夫して訓練を実施してほしい。

**質疑** 万一のときに、土のうを作るための砂をどのように調達するのか。また、近年は砂の代わりに水を入れる水のうやそれに代わる資機材もあるが、代替品の検討は行っているのか。

**回答** 砂は各地区市民センターに準備している。水のうは使いづらく採用していないが、試行的にブルーシートを貸し出している。

**意見** 近年の水害の発生状況等も考慮し、水防計画の見直しや訓練の実施に取り組んでほしい。

### 教育民生分科会

#### ◆ 児童福祉一般事業費について

**質疑** コロナ禍で虐待の増加が懸念されるが、本市の状況はどうか。

**回答** 速報値で、4月、5月の虐待対応件数は昨年度73件に対して、今年度129件と増加している。要因としてDV等の心理的虐待件数が増加している。

**意見** 虐待にはさまざまな要因があり、こども未来部だけで対応できるものではないが、状況を注視してほしい。

#### ◆ 学校プール運営委託費について

**質疑** プール運営をPTAが行うことで運営の継続が困難になっているのなら、プール運営を市の業務として捉え、監視員の雇用や、複数校合同での実施など、プール監視の人員不足を解決する方法を検討する必要があるのではないか。

**回答** 民間委託については、プールの監視業務を行う資格を有する業者が本市になく、四日市水泳協会との協議でも、夏休みの時期は民間のプールに人手が割かれるため協力が難しいとの話もあった。専門知識を持った人材の確保が一番の課題である。



### 産業生活分科会

#### ◆ 芸術・文化活動について

**質疑** コロナ禍で現在も利用人数の制限等が行われる中で、新たな手法によって文化活動を振興させていくべきと考えるがどうか。

**回答** 他の自治体では、大きな場所に変更する際の差額を免除する制度や、活動支援のための補助金制度を設けている例がある。本市として、活動継続のためのアイデアは絞る必要があると認識している。

**意見** 芸術・文化活動自体が難しい時代だが、活動が衰退しないよう、新しい手を打ってほしい。

#### ◆ 若年者就労支援事業費補助金について

**質疑** 北勢地域若者サポートステーション以外の機関とタッグを組んで事業を行う方向性はないのか。

**回答** 健康福祉部では、ひきこもりの方を対象とした就労準備支援として、国の委託事業である北勢地域若者サポートステーションや商工課の就労コーディネーターの就労支援につなげる取り組みを行っている。若年者への就労支援について、多様な就職先で働いてもらえる人材育成などは非常に重要であると認識しており、今後対応していきたい。

**意見** さまざまな就労形態を継続的に支援していく重層的な就労支援が必要と考える。健康福祉部や北勢地域若者サポートステーションと連携して、予算や人的支援の内容を精査し、コロナ禍の状況でも、工夫して発展させてほしい。

### 都市・環境分科会

#### ◆ 北大谷斎場整備事業費について

**質疑** 3つの式場のうち、一番広い式場の利用が年々減少している。社会全体で小規模な葬儀が増え、小さな式場のニーズが高まる中、式場のあり方を確認したい。

**回答** 葬儀事業者との意見交換では、「大きな会場の維持は民間では困難であるため、行政で残してほしい」という意見も聞く。高齢化やコロナ禍の影響もあり、葬儀自体の考え方が変化している認識はあるものの、ある程度の人数を収容する式場も市内のどこかには必要と考えており、今後の状況を見極めたい。

#### ◆ 管渠布設費（浜田通り雨水貯留管）について

**質疑** 計画のとおり令和4年度に供用を開始できるのか、進捗状況を含め確認したい。

**回答** 今年12月末頃に鶴の森公園への到達を予定している。令和4年度の梅雨の時期までには供用開始を目指して進めていきたい。

**意見** 工事の内容について、地元でも知らない人が多いと感じるため、丁寧な情報発信をしてほしい。



## 一般質問した議員と項目（質問順）

太田 紀子	・市営住宅について
豊田 祥司	・就学前教育の新型コロナウイルス対策は？ ・選挙へ行こう（投票率を上げるには）Part 2
平野 貴之	・緑ふやして まち生き茂る ～グリーンインフラで様々な社会課題を解決～
谷口 周司	・「泗水の里」モンドセレクション2020最高金賞受賞 ・高齢者へのインフルエンザ予防接種について ・マイナンバーカードの普及に向けて
豊田 政典	・公立幼稚園の歴史と未来 — “子育てするなら四日市” ～そこに愛はあるのか!?
井上 進	・「こにゅうどうくんライナー」運行開始 ・「よっかいちの自然」の発行をうけて
三木 隆	・市民生活や産業活動を支える道路空間整備 ・公共施設の有効活用
後藤 純子	・デジタルガバメントとDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進について ・アレルギー疾患対策基本法の取組みについて ・こころの健康について
小田あけみ	・発達段階に応じた教育の実現について ～異年齢集団を基本単位とした教育の可能性～
加納 康樹	・ハラスメント、誹謗中傷を止めよう！ ～四日市市として、取り組むべきことがある～ ・多文化共生施策について ～四日市市の枠を越えて取り組むべきではないか～ ・市民に求められている情報提供に応えよう ～もっとアプリを有効に使うべきではないか～ ・新しい図書館は、いつ建つのか ～スターアイランド跡地に本当に図書館は出来るのか～
伊藤 昌志	・31万人元気都市実現に向けて ～防災～「大雨に対する浸水対策について」 ・31万人元気都市実現に向けて ～安全衛生～「子供達の感染症対策について」 ・31万人元気都市実現に向けて ～社会福祉～「障害者の自立支援について」
笹井 絹予	・高齢者の健康と生活の充実について ・コロナウイルスに伴う福祉施設等の職員確保支援について ・本市の雇用対策について ・情報セキュリティと情報活用について
伊藤 嗣也	・新しい時代の吊いの仕方 ～合葬墓の導入について～ ・新しい時代の三重とこわか国体 ～全国からやって来るのは選手だけ？～ ・新しい時代の公共施設の管理及び活用 ・新しい時代の駐車場経営 ～過去のしがらみを超えて～
小川 政人	・館英次副市長の東大話法（議論のすり替え、はぐらかし、詭弁）
中村 久雄	・新しい生活様式の市政を考える ～令和元年度決算から～
荻須 智之	・飲食店での喫煙規制の現状と今後について ・大矢知地区の教育問題と産廃問題と中核市移行について ・クリーンセンターの施設寿命とその後について
森 智子	・かぶせ茶のこれから ～特産物、産地、生産者を守るために～ ・おくやみ手続きハンドブックの活用について
荒木 美幸	・メメントモリ「死を想え！」～多死社会への備えを急げ～ ・「いつも」と「もしも」をもっとフリーに！～フェーズフリー その2～
樋口 博己	・持続可能で災害に強いまち「四日市」を目指して ～激甚化・頻繁化・日常化～



一般質問は、定例会月議会が開かれたときに、議員が議案に関係なく市政の諸課題や将来への展望等について市の考えをたずめます。

8月定例会月議会は、19人が一般質問を行いました。その中から主な質問と答弁の内容をご紹介します。

質問等の詳細については、市議会ホームページに掲載しています「インターネット議会中継」または「会議録（次の12月定例会月議会ごろに公開予定）」をご覧ください。

QRコードから各議員の質問の映像を見ることができます。（※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります）

## 市営住宅

### 市営住宅の入居要件に連帯保証人の免除を求む



日本共産党  
太田 紀子



**議員** 市営住宅入居時の連帯保証人について、今年5月より、原則2名を維持しつつ高齢者など市が必要と認める場合に1名に減じる等の要件緩和を行ったものの、この内容が十分に入居希望の市民に知らされないという事例があった。関係する部局と緊密に連携を図り、市民に十分周知を行うなど特段の配慮が必要ではないか。

**都市整備部長** 具体的な事例に関する対応方法の徹底や他部局との情報共有が不足していた。課題と捉えて、マニュアルを作成し対応の徹底を図っており、市民へのより一層の周知にも努めたい。

**議員** 国からは保証人確保を入居の前提としない見解も示され、同様の運用を行う自治体も増

えている。住宅に困窮し、緊急連絡先の確保さえ難しい市民がみえる中、少しでも入居しやすくなるよう、連帯保証人の免除など市民の状況に応じたさらなる要件緩和が必要ではないか。

**都市整備部長** 連帯保証人制度は、一時的に家賃支払いが困難な場合の立て替えや緊急時における身元引受けの役割を担う面があり、入居者の安心した暮らしに寄与していると考えが、長期的には連帯保証人の義務付けの廃止を考えている。まずは令和3年度中に機関保証制度の導入を目標として、先事例を調査しながら入居者の状況に応じて選択できる制度を検討する。

**議員** 生活に困窮する誰もが希望すれば市営住宅に入居できる制度となるよう強く要望する。

## 新型コロナウイルス

### 就学前教育の新型コロナウイルス対策を問う



日本共産党  
豊田 祥司



**議員** 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3月に学校は臨時休業となったが、保育園は休園することなく運営をしていた。就学前教育における感染症に対する取り組みはどうか。

**こども未来部長** 健康チェック表による健康状態の把握、こまめな換気、手洗い指導等を行い、できる限り密にならないよう工夫をしている。また、保健師が公立園、私立保育園を訪問し、感染症対策等に関する指導や助言を行っている。

**議員** 一時保育事業（※）はコロナ禍で利用者が減少しているが私立幼稚園の運営状況への市の対応はどうか。

**こども未来部長** 今年度、国の交付要綱をもとに市補助金の増額改定をした。さらに、8月定例会月議会で新型コロナウイルス感染症対策として、一時保育実施園に1園50万円の補助を行う補正予算を計上した。引き続き、円滑な事業実施に向け適正な補助の執行に努めていきたい。

**議員** 国は、医療、介護、障害福祉の分野で働く方へ慰労金を支給するとしているが、保育所

で働く方たちは対象となっていない。本市は保育士への慰労金を支給する考えはあるのか。

**こども未来部長** 国の第二次補正予算に対し、関係団体から全保育士等を慰労金の支給対象とするよう緊急要望が提出されている。今後、こういった国の動向も注視していきたい。

**議員** コロナ禍で神経をすり減らしながら働く保育士を支援する事業を進めてほしい。



保育所で働く方への支援が求められる

※ 保護者のパート就労や疾病等により、一時的に保育を必要とする児童のための事業

環境・都市計画

緑ふやして まち生い茂る



新風創志会  
平野 貴之



**議員** グリーンインフラ（※）という考え方が世界で注目されており、自然環境の保全だけでなく、災害リスクの軽減、観光やレクリエーションの場の提供、未利用地の維持管理など、さまざまな課題解決が期待されている。また、これにより地価上昇や優良企業の誘致などを達成し地域ブランドを確立した都市も多い。本市も総合計画にグリーンインフラの維持管理や創出に努めると明記しているが、具体的な考え方や取り組みには言及していない。今後本市の緑の基本計画、環境計画を改定する際に、グリーンインフラをどのように定義し推進していくか。

**都市整備部長** 現行の四日市広域緑の基本計画には、グリーンインフラの記述こそないが方向

※ 自然環境が有する多様な機能や仕組みを賢く利用し、社会のさまざまな課題解決に活用しようとする考え方

性は同じである。グリーンインフラは今後のインフラ整備の基本に据えられる考え方と捉え、住民や企業などと連携し具体的な方向性を検討したい。

**環境部長** 自然との触れ合いの場と機会の創出、気候変動の影響への適応という方針を次期環境計画に掲げる予定であり、関係部局と連携しグリーンインフラの維持管理や創出を進めていく。

**議員** 建築物の屋上や壁面の緑化、雨庭、緑道の整備のほか、里山整備で出た木材を薪ストーブの利用者が活用する循環の形成やヤギを活用した除草など、先進事例を参考に取り組み、緑いっぱいの魅力的な空間づくりを推進してほしい。

予防接種

高齢者へのインフルエンザ予防接種を無料化せよ



新風創志会  
谷口 周司



**議員** 新型コロナウイルスはいまだに収束しておらず、インフルエンザとの同時流行が懸念される。どちらも高齢者にとって重症化のリスクがあり、また、症状が見分け難いことから、医療現場の負担軽減のためにも、高齢者の命や健康を守る万全の体制を整える必要がある。本市では65歳以上の方および60～65歳の一部の方を対象にインフルエンザ定期予防接種にかかる接種料金の一部を公費負担しているが、接種率は毎年50%程度を推移している。接種率向上に向け、例えば高齢者が集まる場所等、病院以外での予防接種を実施すべきと考えるがどうか。

**健康福祉部長** 国の呼びかけに応じて接種開始日を例年より早めて、10月1日から実施したい。

接種率を向上させたいが、病院以外での予防接種の実施には関係法令に定められた各種要件を満たさなければならず、これに協力いただける医療機関が必要となるといった課題がある。

**議員** 予防接種を後押しするためにも、今年度に限り、インフルエンザ定期予防接種の対象者の自己負担を無料にすべきではないか。

**市長** コロナ禍においてインフルエンザを確実に抑えていかなければならない。対象となる高齢者の自己負担無料化を含めて最終調整を行っているところであり、しっかり準備していく。

**議員** あわせて、子育て世帯からは子どものインフルエンザ予防接種への公費負担を求める切実な声があるため、これを機に検討してほしい。

公立幼稚園

今後の公立幼稚園の方向性を早急に示し議論を



新風創志会  
豊田 政典



**議員** 近い将来本市の公立幼稚園がなくなるかもしれない危機的状況にもかかわらず、公立幼稚園の適正化計画を進める本市は、特に課題と捉えていない。歴史を振り返ると、幼児教育を担ってきた本市に大きな責任があると考え、統廃合が進む現状をどのように捉えているのか。

**こども未来部長** 公立幼稚園の園児数の減少は社会情勢や家庭環境の変化によるものだが、本市は、その解決に向けた方策の一つとして、適正化計画において幼保連携型認定こども園を位置付け、幼児教育の課題に対応してきた。

**議員** 本市が進める公立幼稚園の適正化計画は人数だけの適正化であり、本市は園児数減少を黙認し自然消滅を待っているとしか思えない。

公立幼稚園を将来的に認定こども園化する考えから、トイレ改修やエアコン設置など公立幼稚園の整備が進んでいないのではないかと。

**こども未来部長** 総合計画では、適切な集団規模での教育が困難な園は認定こども園として公的役割を保障すると定めた。幼児教育・保育無償化の動向も踏まえ今後の方向性を見極める。

**議員** 市長は、子育てするなら四日市と胸を張って言えるのか。幼児教育の今後の方向性について早急に案を示し、議会で議論すべきである。

**市長** 時代の状況に応じ、公立と私立の幼稚園がともに子どもたちの幼児教育を提供できる環境整備は必要と認識している。次期適正化計画の策定に向け、今後方向性を示し議論したい。

環境保全

四日市の豊かな自然を守り、魅力をアピールせよ



新風創志会  
井上 進



**議員** 本市は、冊子「よっかいちの自然」を発行し、自然環境や絶滅危惧種などを紹介しているが、自然環境の保全をボランティア活動に頼っている現状がある。本市の自然をしっかりと守っていくために、地域で環境保全活動をしている方々への支援が必要と考えるがどうか。

**環境部長** 地域での環境保全の活動に敬意を表するため、平成27年度から表彰制度を設け、環境活動の優れた事例を表彰しており、また、エコパートナー環境学習等業務委託事業を実施している。このような制度を利用してもらい、地域の環境保全活動の課題について行政に声をかけていただき、地域と行政が一体となってともに自然を守っていきたく考えている。

※ 市が民有地を無償で借り受け、憩いの緑地として市民が利用するため、整備と維持管理を地域団体などに委託する制度

**議員** 岐阜県関市にある通称「モネの池」は、SNSで取り上げられ観光名所となっている。本市にも、夏にはホテルが乱舞する場所があり、このような豊かな自然を大切に育て、生かしていくべきではないかと考える。東京都日野市では、行政に里山管理を依頼できる日野市緑地信託制度がある。本市でもこのような制度を策定して、里山や希少種の保全を図り、「誰もが自然に親しめるまち四日市」を目指してはどうか。

**環境部長** 本市では、都市緑地法に基づく市民緑地制度（※）を運用しており、地域の方々と里山を活用した取り組みなどを行っている。引き続き他市の制度も参考にし、関係部局とともに自然環境の保全と方策を検討していきたい。

交通渋滞

渋滞緩和に向けた効果的な取り組みを



新風創志会  
三木 隆



**議員** 市内各所で交通渋滞が発生しており、市民生活や産業活動に影響を与えている。交差点で右折車が滞留することが渋滞の一因であると考え、右折レーンや右折矢印信号の設置により渋滞緩和が可能ではないか。渋滞緩和に向けた施策の考え方を確認したい。また、変則交差点の改良についても併せて確認したい。

**都市整備部長** 渋滞緩和については、渋滞の発生要因に応じて対策を行っている。交差点等の局所的改良は比較的安価に対策ができる効果的な方法だが、交通量が道路容量を大幅に上回っている場合には効果が薄いといった課題がある。また、2つの丁字路が至近距離にある赤堀山城線と阿倉川西富田線の変則交差点を通常の十字

交差点に変更する改良などに取り組んでいる。渋滞緩和に向け、交通量調査等を通じて効果を見定めた上で、改良を進めていきたい。

**議員** 北勢バイパスの整備は内陸部の企業にとっても大きなメリットとなる。一方で国道365号との接続点で渋滞が発生するのではないかと危惧するが、交差点の形状はどうなる見込みか。

**都市整備部長** 最終的には立体交差となるが、当面は暫定的に平面交差の信号交差点となる。十分な右折レーンを確保することとしており、深刻な渋滞の原因にはならないと考えている。

**議員** 右折レーンの設置等により渋滞緩和が期待できるため、関係機関と連携しながら対策に取り組んでほしい。

教育

イエナプラン教育を行うモデル校の導入を



リベラル21  
小田あけみ



**議員** 日本の教育では同一学年で同一内容を学ぶことが基本だが、イエナプラン教育（※）では、個々の子どもの発達に応じて異年齢学級の中で学ぶことができ、他県の公立校で導入事例もある。本市ではどのように捉えているか。

**教育長** 義務教育制度は学年学級制を基本とした同学年児童によるカリキュラム編成であり、また、教員の研修に係る課題等もあるため、現時点では、本市でのイエナプラン教育の導入は困難と考える。ただし、子ども同士の学び合いや協働を促すその理念は、本市の考え方と相通じるものであり、大事にして施策を進めたい。

**議員** 異年齢学級を採り入れている学校では、学習の基本として経験・発見・探求を中心に据

えている。異年齢集団での教育について、本市の取り組み状況と今後の考え方を確認したい。

**教育長** 本市は、平成17年度から中学校区における保幼小中連携による「学びの一体化」で異校種間での異学年集団の教育活動を行うなど、社会性や自己肯定感等を養うことは重要と捉えている。今後も多様な子どもたちが自ら関心を持つ探求的な学びを充実させ、主体的、協働的な学びを大切にしながら取り組みを進める。

**議員** 子どもたちの互いに学び合う力を引き出し、多忙な教職員の負担軽減のためにも、イエナプラン教育は必要と考える。横並び教育ではなく、モデル校をつくって子どもや親が選択できるように新たな教育システムを導入してほしい。

※ 小学1～3年生、4～6年生による異年齢集団を基本単位として行う教育活動。主にオランダで普及

心の健康

こころの傾聴電話で市民の不安を和らげる



リベラル21  
後藤 純子

**議員** 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、新しい生活様式が求められ、慣れない生活スタイルにより日常生活のバランスが崩れ、心の健康を保つことができない危険性がある。本市では、令和2年9月に新型コロナウイルス感染症に伴うこころの傾聴電話の相談窓口を新設したが、それまでの本市へのこころの健康相談件数とその内容はどうか。また、新型コロナウイルス感染症の対応をしている職員が心の健康問題で体調を崩すなどしていないか。

**健康福祉部長** 本市保健所へのこころの健康相談の件数は、今年度は4月から8月の相談件数が前年度と比べて約300件増加している。相談内容は、飲酒量が増えた、子どもが学校へ行きたがらないなどの相談が増加傾向にあった。新設した新型コロナウイルス感染症に伴うこころの傾聴電話は、傾聴ボランティア経験者がプライバシーに十分配慮して話を聞き、不安軽減を図っているが、このような場があることを積極的に周知啓発していきたい。



**総務部長** 現在のところ従事する職員からの相談はないが、通常時にはない負担がかかっており配慮が必要である。交代勤務や検温の徹底、感染の疑い等がある場合の特別休暇、部内外からの応援など、健康に働ける体制を整えている。

**議員** 生きづらい世の中で耐えられないと感じたら、こころの傾聴電話などの相談窓口の利用や医療機関への受診を強くお願いしたい。

新型コロナウイルス感染症に伴う  
**こころの傾聴電話**

新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちの生活は、健康被害だけでなく、生活困難、経済困難など、大きな影響を受けています。  
誰にも届かない不安や悩みを抱えている方は、一人で悩まずお電話ください。

日時：月曜日、火曜日、金曜日（祝日を除く）  
午後1時から午後5時  
☎ 059-354-8092

傾聴ボランティア経験者がお話を聴かせていただきます。

こころの相談 ☎059-352-0596（24時間常設） 相談時間：相談時間  
日時：月曜日～金曜日 午前9時30分～午後5時15分（祝日を除く）  
※相談は無料です。お電話にお気軽ください。

本館：池田2-1 西日市市民センター 総務課 電話 ☎059-352-0596

新たに設置されたこころの傾聴電話

人 権

ハラスメント・誹謗中傷をやめよう！



リベラル21  
加納 康樹

**議員** 新型コロナウイルス感染症に関連したカスタマーハラスメント（※）が発生しており、差別、偏見などの問題も顕在化している。最近ではSNSでの誹謗中傷も社会問題となっているが、本市として、あらゆるハラスメント、誹謗中傷をなくすため、学校教育の徹底やあらゆる手段を駆使して啓発すべきではないか。

**教育長** 小中学校では、差別や誹謗中傷をする側ではなく、なくす側になるよう指導を行っており、総合計画においても「インターネット時代における、メディア・リテラシー養成を通じた人権教育の推進」に取り組んでいる。

**総務部長** 本市では、誹謗中傷が起こらないよう、普段から繰り返し啓発を行っていくことが重要と考えているが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いネット上での誹謗中傷が顕著になってきたこともあり、これまでの取り組みに加え、各地区のセンターだよりでの周知、ポスターの掲示、市長メッセージの発信等を行った。今後も広報よっかいちや公式ツイッターなどの



媒体を通じて市民に啓発していきたい。

**議員** 三重県では、感染症対策条例の中に差別的禁止を明記するという方針を打ち出したという報道もある。本市も誹謗中傷を禁止する条例の制定や宣言をすべきではないか。

**市長** 条例制定や宣言については、本市の人権宣言やすでに制定している条例も踏まえ、しっかり対応していけるように整理していきたい。

**STOP！ コロ＋差別**

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、誤解や偏見により、感染者や医療関係者とその家族、感染者が確認された事業所などに対する誹謗、中傷やいじめ、差別的な対応といった人権侵害が増加しています。新型コロナウイルス感染症による差別は決して許されるものではありません。私たちはウイルスです。私たち一人ひとりがお互いの立場に立ち、思いやりの心を持って支えあいましょう。

不倫や差別や偏見に関する生活相談先  
みんなの人権110番 ☎0570-003-110  
子どもの人権110番 ☎0120-007-110  
女性の人権ホットライン ☎0570-070-810  
外国人権相談ダイヤル ☎0570-090-911

西日市市民センター

あらゆる手段でハラスメント、誹謗中傷をなくす取り組みが求められる

※ 消費者・顧客の立場を利用して、理不尽な要求や謝罪を強要すること

## 水 害

# 豪雨等による浸水被害に備え、市民に安心を！



市民eyes  
伊藤 昌志



**議員** 近年、激しい降雨が増え、本市においても2年続けて同じ地域で浸水被害が出ており、不安を感じる市民は多い。本市は過去に東海豪雨による浸水被害を経験しているが、それ以降、どのような対策を講じてきたのか。

**上下水道事業管理者** 東海豪雨以降、ポンプ場や雨水幹線、貯留管の整備等、さまざまな手法を使い分けて対策を講じてきた。また、普段からパトロールを行うなど、維持管理に努めている。浸水状況や事業費等を総合的に考慮して優先度をつけ、計画的に整備を進める。

**都市整備部長** 本市では準用河川の拡幅整備のほか、局所的な改良や除草等に努めてきた。国や県が管理する河川は、国土強靱化に係る緊急

対策として集中的に整備が進められており、今後もこの緊急対策の継続、拡充を求めている。

**議員** 近年、デジタル化の進展に伴い、情報発信の手法はホームページからアプリへと変化してきた。本市の災害情報の発信方法について、今後の方針を確認したい。

**危機管理監** スマートフォンで緊急情報を受信できるアプリを今年度中に導入する。さらに、令和3年度には浸水想定を確認できる啓発アプリの導入を計画しており、デジタル技術を活用した情報発信の取り組みを進めていく。

**議員** 市民の不安を少しでも解消できるよう、市の取り組みを発信するとともに、啓発アプリ等が有効なものとなるように努力してほしい。

## 高齢者福祉

# 高齢者が健康で安心して生活するために



政友クラブ  
笹井 綱予



**議員** 新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛や新しい生活様式などにより、高齢者が家に閉じこもりがちになり、生きがいや喜び、楽しみを感じられず、不安や孤立感を抱えているのではないかと。本市における高齢者の心身の健康に関する相談の件数、内容はどうかであったか。

**健康福祉部長** 全体の相談件数には大きな変動はなかったが、介護サービス利用時の感染リスクの相談や、在宅時間が増えて家族からきつくだたられるという相談などが寄せられた。

**議員** 高齢者の外出や活動時間が減ると、生活機能が低下しフレイル（※）（虚弱）に陥る危険がある。本市のフレイル予防の取り組みはどうか。また、高齢者の健康的な生活のため健康

器具やエアコンの購入費用を補助してはどうか。

**健康福祉部長** いきいき百歳体操などによるフレイル予防を行うほか、フレイル予防の重要性についての周知啓発や、関係機関への情報提供を行っている。健康器具は、高齢者への負荷や適性の検討も必要となり、まずは気軽にできる体操等を広め、感染症予防と両立して高齢者の健康増進に努めたい。また、エアコン設置の際は社会福祉協議会の貸付などを案内している。

**議員** 新型コロナウイルス感染症が発生しても介護サービスの提供を継続できるよう、社会福祉施設等への応援体制が必要ではないか。

**健康福祉部長** 緊急時の他施設からの応援など、県と連携し広域での介護従事者の確保に努める。

※ 身体的機能や認知機能の低下が見られ、介護が必要となる一歩手前の状態

## 公共施設

# コロナ禍に対応した新たな公共施設のあり方を問う



政友クラブ  
伊藤 嗣也



**議員** 市立図書館に図書消毒器を導入したが、同館だけの導入では、分館図書館と図書を融通し合っている点からも対応が不十分である。コロナ禍でも市民が安全安心に図書を借りられるよう、分館のあさけプラザ図書館と楠交流会館図書室にも図書消毒器を導入すべきではないか。

**市民文化部長** コロナ禍の収束が見通せない中、図書の清潔保持や衛生的な取り扱いについて対策を講じることは重要と考えており、令和3年度導入に向け、当初予算で予算要求を行いたい。

**議員** 文化会館にサーモグラフィカメラによる自動検温器を導入したが、あさけプラザホールにも導入すべきではないか。

**市民文化部長** コロナ禍でも安心してあさけプ

ラザホールを利用いただけるよう、令和3年度導入に向け、当初予算で予算要求を行いたい。

**議員** 三重北勢健康増進センター（以下、ヘルスプラザ）と中央及び西老人福祉センターでは、毎回利用時に氏名等の記入に加え、コロナ禍でさらに記入項目が増えるなど利用者の負担が大きい。あさけプラザと同様、カードのバーコードを読み取る対応により、利用手続きの簡素化と迅速な利用状況の把握を行うべきではないか。

**健康福祉部長** ヘルスプラザと中央及び西老人福祉センターの入館利用者の管理について、コロナ禍の状況も踏まえ、あさけプラザと同様のバーコードでの管理の方法を採り入れて手続きの簡素化を図り、改善に取り組みたい。

## 採用試験

## 館副市長の採用問題



政友クラブ  
小川 政人



**議員** 館副市長は採用試験を受けていないと言う職員がいた。これは、実は二人目だ。人事課から「弁護士、公認会計士と同じ特別な採用だから資料はないが、小論文、面接をしている」と選考決裁文書のコピーをもらった。「都市整備、都市設計の専門職員がおらず、また、一般競争試験で採用するのも困難であるため、国、民間機関の技術者の中から、移入すべく働きかけてきたところ、本市出身者で地域振興整備公団に勤務する館氏から本市勤務の意思表示があり、面接、小論文試験の結果、適格者と判断したので採用する」との決裁であった。おかしいと思い、元市議に館君はなぜ四日市に戻ったかと尋ねた。「身内の不幸時に休暇が取れなかつ

た。嫌気がさして市の職員になりたいということで、家へ来てもらって話を聞いた。助役に相談して、国及び県からもらってくる形で採用をした。そうであるから無試験だ」と話された。これは事実か、事実であれば正当な採用なのか。

**総務部長** 本市が必要とする専門性を有する人物であることから選考試験を実施し、面接と小論文によって採用の判断をした。

**館副市長** 身内の不幸があり、四日市に帰る決断をした。選択肢の一つが市役所であったが、私から学科試験をせずに採用してほしいと言ったことは一切なく、元市議にも会っていない。推測であるが、息子が市役所に入りたいと言っていると親が元市議に相談した可能性はある。

## 市民協働

## 地域活動へ積極的に参加できる仕組みづくりを



政友クラブ  
中村 久雄



**議員** ウィズコロナ時代の新しい生活様式への移行もあり、ワークライフバランスを充実させる働き方改革は今後さらに進むと期待される。こうした動きが広がれば地域活動や社会貢献活動に費やす時間が増えることも期待できるが、働ける間は働くという選択をする方が主流である。自治会など地域の担い手不足は深刻であり、現役世代を含めた人材の確保が喫緊の課題である。市職員に対して、公務以外の時間における活動の選択肢の一つとして自治会活動等の地域貢献活動への積極的な参加を推奨してはどうか。

**市民文化部長** 市職員が地域行事へ積極的に参加することは地域の活性化に資するものと考えており、職員の自主性を尊重しながら地域行事

への参加を呼び掛けている。本年4月に施行された「四日市市自治会加入促進と自治会活動推進のための条例」の中でも、事業者について、従業員がその居住する地域の自治会活動に参加することへの配慮に努めるなどの役割を定めており、市職員についても同様と考えている。また、本市では、職員のワークライフバランスの充実を推進するほか、ボランティア休暇の制度拡充など、職員が地域活動へ参加しやすい環境づくりにつながるよう取り組んでおり、今後も継続して取り組むことで担い手不足解消や地域社会の活性化につなげていきたい。

**議員** 現役世代である市職員が、積極的に参加できるような制度づくりを要望する。

## 高齢化社会

## 多死社会を見据えた終活への具体的な支援を



公明党  
荒木 美幸



**議員** 少子高齢化と核家族化が進む中、人間関係の希薄さや所得等により、命の尊厳を持って葬られるべき人の人生の最期が軽んじられ、人の思いや心が置き去りにならないよう、多死社会への備えを急がなければならない。総合計画に示すふさわしい公営霊園のあり方について、今後の方向性を確認したい。

**環境部長** 今後予想される身寄りのない方の埋葬や墓地の無縁化の増加に対応できる市営霊園について、令和3年度に基本設計、令和4年度に実施設計を行い、その後整備を進めたい。

**議員** 身寄りのない方が亡くなった場合、法に基づいて自治体が対応することとなる。本市における近年の状況と職員の対応はどうか。

**環境部長** 身寄りのない方が亡くなった場合、親族等の調査、遺体引き取りの意思確認を行い、状況によって本市が火葬することもある。これらの対応件数は年間25件程度で、対応に1カ月半の時間を要した事例もある。

**議員** 身元調査等を行う職員の負担は極めて大きい。職員の負担軽減とともに、身寄りのない方にとって亡くなった後や生きていく上での安心のためにも、本市で終活（※1）を支援する具体的な仕組みづくりが必要ではないか。

**健康福祉部長** 「これからノート」（※2）を活用し関係機関と連携した終活支援を行いたい。

**議員** 総合計画に示す本市としての終活支援のあり方を真剣に研究し取り組んでほしい。

※1 死と向き合い、自らが望む人生の最期を迎えるためのさまざまな準備を行うこと

※2 周囲の人と日頃から人生の最期について話し合うきっかけとなるよう、今年3月に市と関係者が協力し、医師会が作成

たばこ

受動喫煙対策を進める飲食店を支援すべき



政友クラブ  
荻須 智之

**議員** 健康増進法の改正により飲食店等では原則禁煙となったが、条件を満たす既存の小規模店舗等は届け出を提出することで、喫煙が可能となる経過措置の適用を受けることができる。このような内容を知らない市民や事業者も多いと思われるが、どのように周知しているのか。

**健康福祉部長** 今回の法改正の趣旨は、望まない受動喫煙の防止を強力に進めようとするものであり、ホームページや広報紙等を通じて周知に努めている。また、飲食店に対してはさまざまな機会を捉えて周知しているほか、相談に応じて個別に説明を行うなど丁寧に対応している。

**議員** 喫煙できる飲食店は、受動喫煙を防ぐためにさまざまな努力をしているが、市はどのような支援を行っているのか。

**健康福祉部長** 飲食店においては、たばこの煙の流出防止対策等の措置を講じた上で、喫煙専用室等を設置することが可能であり、これに対して国の助成を受けることができる。当制度を活用し、望まない受動喫煙を防止するための対



策が推進されるよう、制度の周知に努めていく。

**議員** 喫煙に対する風当たりが強まり、喫煙場所が減っているが、昨年度のたばこ税による本市の歳入は約22億円であり、喫煙に伴う税金がある以上、本市には喫煙者向けの取り組みを行う責任があると考えます。喫煙専用室を整備するための各種商品もでており、本市として補助制度を設けることも検討してほしい。



飲食店の全面禁煙に向け3つの分類で経過措置が適用される

茶業振興

特産物かぶせ茶と産地、生産者を守る



公明党  
森 智子

**議員** 近年のかぶせ茶の消費の落ち込み、取引価格の低下を本市はどのように捉えているか。

**商工農水部長** ペットボトル飲料の普及で緑茶自体の消費は増加する一方、急須でお茶を飲む機会が減少して茶葉の需要が減り、かぶせ茶の消費や価格が落ちている。急須でお茶を入れる機会の創出、産地のブランド力向上など、各関係者と協力して産地全体で取り組んでいきたい。

**議員** 新型コロナウイルス感染症の影響で消費が減少したお茶の生産者に対する国の支援では、次の作付けに取り組むための肥料や農薬等の費用の支援と、GAP(※)認証取得や新技術の導入等の取り組みに対する支援があるが、5月の新茶の時期以降に出荷があった生産者への支援はめどが立っていない。国の支援を待たずに、本市独自で支援するべきではないか。また、GAP認証は近年注目を集め、取得すれば販路拡大につながる。GAP認証取得を考える生産者に対し、認証手続きに必要な支援ができないか。

**商工農水部長** 本市から国に対して、5月以降

に出荷があった生産者に対する支援を速やかに開始するよう要望を行った。農家の意見を聞きながら産地としての方向性を明確にし、本市独自の支援の手法を検討していきたい。また、GAP認証取得に向けたセミナーを開催しており、取得を目指す生産者の相談等に対応したい。

**議員** かぶせ茶の魅力を広め、生産者が誇りを持って茶業を継続できるような支援を強く望む。



お茶の生産者に対する支援が求められる

※ 農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組み





## 防 災

## 持続可能で災害に強いまち四日市を目指して



公明党  
樋口 博己



**議員** 令和5年4月に供用開始を予定している中学校の給食センターについて、災害時においても速やかに復旧し、温かい給食を提供できるよう、地元食材やプロパンガスに関する優先的供給協定を事業者と締結すべきではないか。

**副教育長** 災害時の給食センター早期再開のために、給食用物資提供の情報把握、調達および供給に関して必要事項の検討を行っていきたい。

**議員** 災害時に、給食センターの配送トラックを食料等の救援物資配送に活用できないか。

**副教育長** 施設設備、配送車両の使用等、災害時の市への協力体制については、PFI（※）事業者の決定後に協議することとなる。

**議員** 各中学校の体育館等は災害時の指定避難

※ 公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法

所になっている。学校が再開するまでの間、給食センターの温かい食事を避難者へ提供することを検討すべきではないか。

**副教育長** 調理員や配送員の確保、必要な食材の確保、ライフラインの稼働状況など課題は多く考えられる。こうした課題を踏まえ、災害時対応も念頭に置きながら、給食センターの供用開始に向け全力で取り組んでいきたい。

**議員** 東京都練馬区では災害時の電源確保の取り組みとして、区民の電気自動車等を避難所で活用する災害時協力登録車制度を創設しており、本市でも創設すべきと考えるがどうか。

**危機管理監** 公用車における電気自動車導入と併せて、前向きに検討を進めていく。

## 8月定例月議会の議案に対してご意見をいただきました

一部の議案について、委員会で審査される前に市民の皆さんに情報提供を行い、ご意見をいただいています。主なご意見の概要は、次のとおりです。いただいたすべてのご意見は市議会ホームページに掲載しています。

◆動産の取得について —消防ポンプ自動車（CD-1型）2台—について 3件

〈意見〉消防車両更新基準に合わせて更新するのではなく、きちんと更新の効果のバランスが取れているのか、厳しく検討してほしい。今、更新しないと役目が果たせないか人命救助できないか消火活動に支障があるのかを、よく精査して議論してもらいたい。

◆新型コロナウイルス感染症 緊急包括支援事業費補助金について 8件

〈意見〉異論ありません。新型コロナへの対応については、国がやるべきこと・県がやること・市がやることを明確にして、四日市市に必要なことを対応してほしい。例えば、東京都世田谷区が、介護施設、幼稚園などの職員に対して全員検査を行う話があるが、なぜ、四日市は実施しないのか？の議論ではなく、検査が必要なのか、その背景は？等の議論を行ったうえで対応してもらえればと思う。

◆番号制度関連経費（個人番号カード交付体制）について 7件

〈意見〉申請には、既定の写真が必要であるが、希望者の中には写真の準備が困難な方もいるので、専用窓口で「顔写真の撮影無料サービス」も加えてほしい。自治体の中には実施済みの市町もある。

◆工事請負契約の締結について —中央緑地駐車場整備事業— について 3件

〈意見〉中央緑地の駐車場台数が増えることに賛成である。特に「三重とこわか大会」の競技に参加される、障害をお持ちの方にとって、足元の水たまりや水はけは、気がかりなことだとお察しする。子ども連れや高齢者にとっても、車の乗り降りの際に足を気にしないでいいような透過性の舗装は大変よいと思う。

12月定例月議会については、11月25日（水）に市議会ホームページ（<https://www.city.yokkaichi.mie.jp/gikai/>）に議案および議案資料を掲載し、ご意見を募集します。

皆さんからのご意見をお待ちしています。

（6月定例月議会号（No325）に関するお詫びと訂正）

9ページの中で、以下のとおり記載誤りがありましたので、お詫び申し上げますとともに次のとおり訂正いたします。

リベラル21 小田あけみ議員 一般質問のシティプロモーション部長答弁

（誤）施設整備やさらなる

（正）施設整備やさらなる情報発信を積極的に進めたい。

## 政務活動費

■**政務活動費とは**…政務活動費は、「地方自治法第100条第14項から16項」に規定する議会の議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付されるもので、交付の対象、額および交付の方法ならびに政務活動費を充てることができる経費の範囲は条例で定めなければなりません。本市においては「四日市市議会政務活動費の交付に関する条例」および「四日市市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則」の規定に基づき、市議会における会派等に交付されます。

■**交付額および交付対象**…交付上限額を会派所属議員数×月額70,000円×12カ月分とし、用途の実績に基づき交付する後払いとしています。また、会派に属しない議員に対しても会派に準じて交付されます。

■**政務活動費用途基準**…政務活動費は、条例で定める以下の用途基準に従って使用します。

項目：調査研究費、研修費、資料作成費、資料購入費、要請・陳情活動費、会議費、広報費、広聴費、人件費、事務費

■**政務活動費の公開**…項目別執行状況については市議会ホームページでご覧いただけます。また、市役所北館1階の市政情報センターでは、政務活動費収支報告書、領収書、視察報告書等の写しをどなたでもご覧いただけます。利用時間は月曜日～金曜日（休日を除く）の午前8時30分から午後5時15分までです。

■**令和元年度 政務活動費執行状況** (単位：円)

	政友クラブ (9人)	新風創志会 (8人)	リベラル21 (6人)	公明党 (5人)	市民eyes (3人)	日本共産党 (2人)	無会派 小田あけみ	計
上限額	6,930,000	6,160,000	4,620,000	3,850,000	2,310,000	1,540,000	770,000	26,180,000
交付額	4,966,597	5,095,493	2,907,446	1,440,088	2,238,068	562,541	479,132	17,690,165

## 12月定例会議会の予定 (日程は都合により変更する場合があります)

12月定例会議会の日程は、11月29日執行予定の市長選挙で当選人が確定した後に決定します（代表質問の有無）。決まり次第、市議会ホームページや地区市民センターに掲示する開催ポスターなどによりお知らせします。

### (代表質問を行う場合)

12/1(火)	初日	午前10時
8(火)	代表質問	午前10時
9(水)	一般質問	午前10時
10(木)	一般質問	午前10時
11(金)	一般質問	午前10時
14(月)	一般質問・追加議案・ 議案質疑・委員会付託	午前10時
15(火)	各常任委員会／予算各分科会	午前10時
16(水)	各常任委員会／予算各分科会(予備日)	午前10時
21(月)	予算常任委員会全体会	午前10時
22(火)	予算常任委員会全体会(予備日)	午前10時
25(金)	最終日(委員長報告・採決)	午後1時

### (代表質問を行わない場合)

12/1(火)	初日	午前10時
7(月)	一般質問	午前10時
8(火)	一般質問	午前10時
9(水)	一般質問	午前10時
10(木)	一般質問・追加議案・ 議案質疑・委員会付託	午前10時
11(金)	各常任委員会／予算各分科会	午前10時
14(月)	各常任委員会／予算各分科会(予備日)	午前10時
17(木)	予算常任委員会全体会	午前10時
18(金)	予算常任委員会全体会(予備日)	午前10時
23(水)	最終日(委員長報告・採決)	午後1時

※各常任委員会は、すでに審査を終了している委員会については開催しません。

※一般(代表)質問の様様をCTY122ch(サブチャンネル)で放送する予定です。

※本会議の様様は市議会のホームページで生中継し、その映像は、後日録画中継として配信します。

※各常任委員会の様様はYouTubeで生中継および録画中継をご覧いただけます。市議会のホームページからご覧ください。

## 定例会議会の報告と意見交換を行いました ～6月定例会議会 議会報告会～

日時：7月8日(水) 18時半～20時

会場：四日市市総合会館

参加人数：18人

今回初めて、4常任委員会合同による議会報告会を開催しました。第1部は、6月定例会議会の審査の報告、第2部はテーマに沿って意見交換を行いました。

いただいたご意見については、市議会で周知を図り、今後の議会活動における一般質問や委員会での審査、次回以降の議会報告会の開催に当たっての参考とさせていただきます。



◆会場での主な内容を要約してご紹介します。

また、概要としてまとめたものを市議会ホームページに掲載しています。

### 〈議会報告会〉

**Q** 新型コロナウイルスの影響で休校となった際、学童保育所に尽力いただいたが、学童保育所の従事者への手当の計上についての議論はあったのか。

**A** 5月開会議会の委員会でも従事者への手当を厚くすべきという議論がなされた。引き続き、議論を深めていくものと考えている。

**Q** 新図書館の備品や図書の購入については、都市部の大手企業だけでなく、地元企業も参入できるようにしてほしい。また、図書消毒器の購入の際にも、地域活性化のために、配慮してほしい。

**A** 地元企業がいろいろな形で参入できるように担当部局に伝えたい。

### 〈シティ・ミーティング〉 テーマ：四日市市政全般について

**意見** 総合計画は、グランドデザイン的なものであると理解するが、新図書館建設やバスターミナルなど具体的な事業をロードマップに示していないと市民には可視化できない。ロードマップもセットで策定してほしい。

**意見** 総合計画に「環境・防災先進都市」を掲げている。四日市市は、防災対策条例という素晴らしい条例ができ、市民にとっての武器を手にした。ぜひこの条例の精神に反することがないように、議会から各事業のチェックをお願いしたい。

**Q** 中核市について詳しく教えてほしい。

**A** 現在、本市は、中核市への移行を目指しているが、大矢知の産廃問題が解決しておらず、県と市が協議している。その課題が解決し次第、中核市移行を進めることとなる。中核市に移行することにより業務量は多くなるが、市に認められる事務権限が増える。

**意見** 学童保育について、保護者にとってまだまだ費用面を含め、かなりの負担となっている。公設民営に向けてぜひ取り組んでほしい。

## 12月定例会議会の議会報告会の予定

今回は、4つの常任委員会が合同して一つの会場で議会報告会を行います。事前申し込みは不要となりますので、お気軽にお越しください。

※新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、中止や開催方法の変更をさせていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

<b>第1部：議会報告会</b>		<b>第2部：シティ・ミーティング（意見交換会）</b>	
日時	令和3年1月6日(水) 18:30～20:00		
会場	四日市市総合会館 7階 第1研修室（四日市市諏訪町2番2号）		
テーマ	四日市市政全般について		

※頂戴するご意見は、口頭によるものを基本とします。 ※手話通訳いたします（事前予約は不要です）。

※進行状況によっては、記載された予定時刻よりも早く終わる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

※天候等により中止となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、開催3時間前に、大雨、暴風、大雪、津波のいずれかの警報が発表された場合、あるいは開始3時間前の時点で短時間のうちに各警報が発令される可能性が高いと認められる場合、また市域に震度4以上の地震が発生した場合は、開催を取り止めとさせていただきますので、あらかじめご了承ください。なお、開催を取り止める場合は、市議会ホームページやフェイスブック等でお知らせいたします。

※開催を取り止める場合は、市議会ホームページやフェイスブック等でお知らせいたします。

※お車で越しになる方は、市営中央駐車場に駐車してください。

## 人事案件

### ●人権擁護委員

- 市川 義彦 氏 (再任) 住所：中野町
- 嶋田 律美 氏 (再任) 住所：御園町一丁目
- 田村 美幸 氏 (再任) 住所：西富田二丁目
- 恒矢 景子 氏 (再任) 住所：南いかるが町
- 西峰 好美 氏 (再任) 住所：尾上町
- 山中 孝英 氏 (新任) 住所：川島町

## 意見書

- ◆子供の貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書
  - ◆教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書
  - ◆防災対策の充実を求める意見書
  - ◆義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書
  - ◆ドクターヘリの安定・持続的運用への支援強化を求める意見書
  - ◆コンビニ交付サービスを活用した罹災証明書の交付を求める意見書
  - ◆新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
  - ◆国土強靱化の継続・拡充を求める意見書
  - ◆地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意見書
- (提出先：内閣総理大臣ほか)

### 年賀状の禁止について

公職選挙法の規定により、議員は選挙区内にある方に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状等を出すことが禁止されていますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

### あしがき

今後の編集の参考とするため、「よっかいち市議会だより」をご覧になったご意見、ご感想などをお寄せください。

#### 広報広聴委員会 (◎委員長 ○副委員長)

- ◎早川 新平 ○村山 繁生 伊藤 昌志 太田 紀子
- 後藤 純子 笹井 絹予 平野 貴之 山口 智也

発行／四日市市議会  
編集／広報広聴委員会 四日市市諏訪町1番5号

## 「子供たちのために夢のある議論を」

～市長へ政策提言を提出しました～

議員政策研究会 未就学児教育・保育分科会において研究、議論を重ねて、提言をとりまとめました。公立幼稚園のあり方や他市に優る幼児教育実現のための議論を求め、9月28日に市長へ提言を提出しました。



## 議員説明会を開催

8月3日に、「近鉄四日市駅周辺等整備事業の状況について」、「新図書館整備に向けた検討・協議について」、「道路整備方針の検討状況について」の3件について、行政側から説明を受けました。

## 市議会モニター研修会を開催

7月27日に市議会モニターの皆さんを対象に議会運営等に関する研修会を開催しました。



### ご意見・ご感想などのあて先

〒510-8601 四日市市諏訪町1番5号  
四日市市議会事務局  
Tel 059-354-8340 Fax 059-354-8304

#### Eメールアドレス

shigikai@city.yokkaichi.mie.jp

#### ホームページ

四日市市議会 検索